



## 立ち止まつた時に見える風景

中学教頭 石垣宗夫

こんなことを夢想することがある。

「もし時間が無機質で何の区切りもなく永遠に流れているとしたら、その世界の風景はどんなだろう。もしそんな中に僕らいるとすれば、どんな表情でたたずんでいるだろう……。」

本当の「時間」がどのようなものかの論議はさておき、私たちの実感としての時間は、忙しくもあるし、退屈でもあるし、楽しい、嬉しい、悲しいなど様々な時があるし、何よりもありがたいことに、節目や区切りがある。

人生はマラソンにたとえられるけれど、私たちの「時間」は、一日、一週間、一ヶ月、一年……、あるいは春夏秋冬という、節目の積み重ねである。

私たちの日々は、自覚めて活動して眠つてそして目覚める、その繰り返しである。つまり、死と再生の連続だと言える。どんなに辛い一日でも、次の日にはリセットできるのである。時間が無慈悲に節目もなく流れるものだとすれば、失敗が続くとマイナスは雪だるま式に増えることになるだろう。しかし、安心すればいい。節目がある。立ち止まつて充電をしたり、もう一度スタートすることができるのである。

いよいよ今年も残りわずか。十二月は学期の節目であり、一年の締めくくりでもある。立ち止まり、振り返つて、そこから見える風景はどんなであろうか。走っている時や、頭を抱えてうずくまつている時には見えない、また違った景色が拡がっていることだろう。新年が楽しみである。

ところで、二十二日は、冬至。二十四節気の一つで、一年中で昼がいちばん短く、夜がいちばん長くなる日であった（南半球では、逆である）。ということは、冬至を境にこれから昼の時間が長くなっていくことになる。まさに十二月は、立ち止まつてじっくり自分自身を見つめ、そして新しくスタートする時なのだ。



12月号  
(第329号)

武庫川女子大学  
附属中学校・高等学校  
総務部

## 第35回全国中学生人権作文コンテスト 兵庫県大会金賞受賞

県内317校、10万874点の応募作品の中で、早矢仕千尋さん（中2）が金賞（最優秀）を、石井望来さん（中2）が銅賞を受賞しました。早矢仕さんの作文は全国大会でも奨励賞を受賞し、クラス全員で彼女の受賞を喜びました。

早矢仕さんは作文の中で「ほかに何か人と違うところがあつても、『私は私』と生きられる社会であることが一番だと

思います。人の気持ちを知ることで、私の考え方にも変わつたように思います。これからも人の気持ち、そして自分の気持ちを大切にしたいと思います」と自分の思いを伝えました。



### 第5回武庫女ビブリオバトル最優秀賞受賞

11月18日（水）、学院挙げて読書活動を推進しよう

と、「武庫女ビブリオバトル（書評合戦）」が今年も

大学で開催されました。多くの大学生の発表者にまじって、附属

高校から天野真有さん（高3）と針生瑞貴さん（高3）が登壇しました。小野不由美著『月の影』『影の海』（十二国記）を取り上げた針生さんが最優秀賞に選ばれました。



### 高3Iコース特別鑑賞会「ライオンキング」

11月20日（金）に高校3年のIコースの生徒が、大阪四季劇場で「ライオンキング」を鑑賞しました。安井友花さんは次のような感想を述べてくれました。

私は今回の劇団四季ライオンキングを鑑賞するのをとても楽しみにしていました。一番はじめの動物たちが登場する場面では、驚きと迫力で、私自身も周りの友人も思わず声を出して「すごい！」と言つてしまふほどで、一瞬にしてライオンキングの世界へと引き込まれました。音楽、歌、演技、次々と変化する場面はいずれも感動的で、大阪公演ならではの関西弁の部分は笑いもあり、3時間が本当にあつといふ間でした。

終了後はなかなか拍手が鳴り止まず、「また見たい」と言つている友人もたくさんいました。私の印象に残った言葉は「ハクナ・マターダ（よくよするな！）」です。これからさまざまなことがあると思いますが、いろいろなことに挑戦して一歩踏み出す勇気をもつていこうと思いました。

### あじさいコンサートに参加します！

1月10日（日）、神戸文化ホールで開催される「あじさいコンサート」にコーラス部が今年も参加します。1995年阪神淡路大震災の犠牲者鎮魂と被災地復興の願いをこめたコンサートです。今年のコンサ

ートのテーマは「～未来へ～音楽でつなぐ心と絆」です。

コーラス部部長の渡邊葉優さん（高3）は「たくさんの方々に音楽の素晴らしさを伝えるられる演奏をしたいです」と思いを語ってくれました。



### 平成28年度 中学・高校入試日程

○中学入試 出願期間 M・A・B・C・D方式とも

【郵送】 平成27年12月24日（木）、25日（金）、28日（月）、

平成28年1月7日（木）、8日（金）、12日（火）、

13日（水）

※午前9時～午後4時まで

・入学考査日 および 集合時間

【M・A方式】 1月16日（土） 8時30分

【B方式】 1月16日（土） 午後4時30分

【C方式】 1月17日（日） 午後4時30分

【D方式】 1月18日（月） 9時

○高校入試 出願期間 A・B・C方式とも

平成28年1月22日（金）～2月2日（火）

※土曜・日曜を除き、午前9時～午後4時まで

1月30日（土）は午前9時～午後1時まで

※郵送可。ただし、期間内必着のこと

・入学考査日

【A・B・C方式】 2月10日（水）

※詳細は、本校事務室まで

TEL 0798-47-6436

「書の甲子園」3年連続 近畿地区優勝！



「書の甲子園」の愛称で親しまれる第24回国際高校生選抜書展（毎日新聞社、毎日書道会主催）の審査結果が発表され、高等学校は3年連続で近畿地区優勝となりました。

近畿地区での団体優勝は18回目です。書道部前部長の野上奈々恵さん（高3）は「これまでの2年間は先輩のおかげで地区優勝できたので、今年も優勝したいと思つていました。みんながそれぞれの実力を出せたので良かったと思います」と話していました。

週5日の部活動でそれぞれ工夫して練習に励み、作品提出直前の9月にはシルバーウィークを使って恒例の校内合宿を行いました。野上さんは「合宿

で、安木先生と江草先生の熱心な指導が毎日続いています。

